

人口減少に立ち向かう私たちの地域共生社会

お待たせしました。
開催日決定！



基調講演

「地域共生社会が描く日本の未来」

吉田昌司

先生（厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課／難病対策課
課長補佐、元倉敷市保健福祉局参与）

実践報告

「人口減少に立ち向かう私たちの地域共生社会」

福祉：後藤 良輔氏（豊中市役所 健康福祉部 地域福祉課 課長補佐）

医療：十河 浩史氏（倉敷中央病院 地域医療連携・広報部 部長）

保健：福島奈緒美氏（和泉市役所 生きがい健康部 保険年金室 国民健康保険担当 総括主幹）

地方創生：岩村 正裕氏（宇和島市役所 高齢者福祉課 地域包括支援センター 所長補佐）

※介護からの実践報告は、吉田先生の基調講演の中に織り込んでいただく予定です。

グループワーク

「未来からの挑戦状～私たちは負の遺産を

どれだけ最小限に抑えられるか～」

ある地方都市の2040年という具体的な未来をターゲットに設定し、想定される人口構造や地域課題に対応するための部局横断型の事業計画、具体的な施策立案、評価指標の設定等についてグループワークする。

開催日時：2018年12月15日（土）13:00～17:30

開催場所：倉敷中央病院研修センター

募集人数：100人 参加費：15日・16日両日参加の場合 5,000円（NPO法人会員は4,000円）
15日のみ参加の場合 4,000円（NPO法人会員は3,000円）

募集対象：保健、医療、介護、福祉、地方創生等、地域共生社会の実現に向けた取り組みに従事する行政担当者、医療連携実務者、及び地域共生社会の実現に興味のある方は誰でも参加できます。

